

入選 低学年の部

お父さん。パワーをありがとう

和歌山県

智辯学園和歌山小学校 三年

富家 孝子 楼

ほくのお父さんは、いつもほくにパワーをいっぱいくれます。

パワーって言うのは、お父さんがほくに、「お父さんのパワーを送ろう。」と言って、ギューッとだきしめてくれる事です。ほくにはお姉さんと弟がいるけど、毎ばんパワーを送ってくれるのはほくだけです。お姉さんも弟も「暑いからやめて。」とキヤーキヤー言っつてにげまわります。ほくもにげたいけど、ほくが気が付かないうちにパワーを送るからにげられません。だから、大きな声で、「暑い、イヤ、やめて。」と何回も言います。でも、ぜつたいにやめてくれません。お父さんはいつも「本当はうれしくせに。」と言っつて、わらっつてはなしてくれませんか。だから、足をバタバタさせます。そうすると、お父さんの足で、ほくの足をおさえてもつととギューッとだきしめてきます。本当に暑くてたまりません。冬の寒い時は、「湯タンポになるやろ。」と言っつて、ギューッとだきしめま

す。その時でも、湯タンポよりもつと暑いです。そんなほくをみてお母さん達は、「なみだが出るくらい面白いな。」と言っつて、大笑いしています。一番笑ってるのはお姉さんです。

でも、このパワーにはひみつがあつて、学校を一回も休まないで元気に行けるパワー。かぜをひかないようにするパワー。とかいろんなパワーがあります。だから本当は、すぐくうれいんです。でも、なんかはずかしくつて、「やめて。」とか、言っつてしまうのです。このパワーのおかげで、ほくはまだ一回も学校を休んだことがありません。ほくがかいきん賞を目指してる事をお父さんは知つてるから、ほくにいっぱいパワーを送つてくれることも分かつています。でも、ギューッとされるつてれしてしまうのです。

お父さんのパワーはすごい力があつて、とてもやさしい顔でパワーを送つてくれます。なかなか言えないけど、「お父さん、いつもパワーをありがとう。」「ほく大好きだよ。」いつまでもパワーを送つてね。